

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公表番号】特表2007-530840(P2007-530840A)
 【公表日】平成19年11月1日(2007.11.1)
 【年通号数】公開・登録公報2007-042
 【出願番号】特願2007-505734(P2007-505734)
 【国際特許分類】

E 0 5 B 19/06 (2006.01)

E 0 5 B 29/08 (2006.01)

【F I】

E 0 5 B 19/06

E 0 5 B 29/08

【手続補正書】
 【提出日】平成20年1月8日(2008.1.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

端縁面にてつながった第 1 および第 2 の概ね平らな反対側を向く側面を画成し、前記第 1 そして第 2 の側面の少なくとも一方がキー組み合わせ面を画成するキーカットを形成するように切削可能である概ね細長い軸部と、

この細長い軸部に対して可動に配されてシリンダー錠プラグに配された錠組み合わせ要素に接触するようになっており、この錠組み合わせ要素に対して付勢力を加えるための固有エネルギーを有し、前記細長い軸部に形成された凹部に配され、前記第 1 および第 2 の側面の両方を越えて前記凹部から外側に弾性的に突出可能である弾性アームを具える少なくとも 1 つのキー組み合わせ要素と

を具えたことを特徴とするキー素材。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つのキー組み合わせ要素が旋回軸線を中心として旋回可能であることを特徴とする請求項 1 に記載のキー素材。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つのキー組み合わせ要素は、少なくとも 1 つの錠組み合わせ要素を付勢するための複数の接触面を具えていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載のキー素材。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つのキー組み合わせ要素は、前記凹部から延在する弧状の切欠きに旋回するように取り付けられた共通のベースから延在する一対の弾性アームを具え、前記凹部は、前記弧状の切欠きから半径方向に拡がる溝が形成され、この溝の壁が前記弾性アームの角運動範囲を画成することを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れかに記載のキー素材。

【請求項 5】

端縁面によってつながった第 1 および第 2 の概ね平らな反対側を向く側面を画成し、前記第 1 および第 2 の側面の少なくとも一方にキー組み合わせ面を画成するキーカットが形成された概ね細長い軸部と、

この細長い軸部に対して可動に配されてシリンダー錠プラグに配された錠組み合わせ要素に接触するようになっており、この錠組み合わせ要素に対して付勢力を加えるための固有エネルギーを有し、前記細長い軸部に形成された凹部に配される弾性アームを具え、かつ前記第 1 および第 2 の側面の両方を共に越えて前記凹部から外側へ弾性的に突出することができる少なくとも 1 つのキー組み合わせ要素と
を具えたことを特徴とするキー。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つのキー組み合わせ要素が旋回軸線を中心として旋回可能であることを特徴とする請求項 5 に記載のキー。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つのキー組み合わせ要素は、少なくとも 1 つの錠組み合わせ要素を付勢するため複数の接触面を具えていることを特徴とする請求項 5 または請求項 6 に記載のキー。

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つのキー組み合わせ要素は、前記凹部から延在する弧状の切欠き内で旋回するように取り付けられた共通のベースから延在する一対の弾性アームを具え、前記凹部には前記弧状の切欠きから半径方向に拡がる溝が形成され、この溝の壁が前記弾性アームの角運動の範囲を画成することを特徴とする請求項 5 または請求項 6 に記載のキー。

【請求項 9】

シリンダー錠ハウジングと、

このシリンダー錠ハウジング内に配されてこれに対し相対回転するように設けられ、かつキー溝を有するプラグと、

端縁面によってつながった概ね平らな反対側を向く第 1 および第 2 の側面を画成する概ね細長い軸部を具え、かつ前記第 1 および第 2 の側面の少なくとも一方にキー組み合わせ面を画成するキーカットが形成されたキーと、

前記細長い軸部に対して可動に配され、かつシリンダー錠プラグに配された錠組み合わせ要素に接触することができるようになっており、この錠組み合わせ要素に対して付勢力を加えるための固有エネルギーを有し、前記細長い軸部に形成した凹部に配され、かつ前記第 1 および第 2 の側面の両方を越えて前記凹部から外側へ弾性的に突出可能である弾性アームを具える少なくとも 1 つのキー組み合わせ要素と

を具えたことを特徴とする錠。

【請求項 10】

前記少なくとも 1 つのキー組み合わせ要素が旋回軸線を中心として旋回可能であることを特徴とする請求項 9 に記載の錠。

【請求項 11】

前記シリンダー錠は、前記プラグ内で滑動するように配され、かつシリンダー錠ハウジングに形成された穴に配された駆動ピンに対して動くことができるプラグピンを具え、前記キー組み合わせ要素は、前記プラグに配された錠組み合わせ要素に接触するようになっていることを特徴とする請求項 9 または請求項 10 に記載の錠。

【請求項 12】

どの前記側面からキー組み合わせ要素が突出するかは、錠組み合わせ要素の位置によって自動的に決まることを特徴とする請求項 9 から請求項 11 の何れかに記載の錠。

【請求項 13】

前記キーが前記キー溝を通して直線状に動く場合、前記キー組み合わせ要素は、これが前記旋回軸線を中心として旋回するように、半径方向に動くことを特徴とする請求項 10 に記載の錠。

【請求項 14】

異なった反対側を向くキー組み合わせ要素を具えていることを特徴とする請求項 9 から請求項 13 の何れかに記載の錠。